

## 生物多様性 地域懇談会

日 時 2011年1月17日(月) 14:00~16:00

場 所 辰野町役場 第6会議室

参加団体 ひとが集い、にぎわうまちづくり懇談会

### 発言要旨

朝日新聞に、明治大学が生物多様性の取組の全面広告が載っていた。動植物の保護や、外来種の駆除が取り上げられている。地域での生態系を含む取組が注目されている。辰野はホタルの町ということでホタルの位置づけは重要な問題。適切な保護や整備ができていないか。保護と観光をどう結びつけるかも重要。地域懇談会ということで県や信大から専門の人が来てくれた。こういう中でそこから何か発信できればと思っている。

これまでの経過について説明する。

取組のきっかけは二つの区で年末にかけて地域の魅力再発見をしている。蝶の関係で辰野の周辺に貴重な蝶の食草の群生があるから大切にしてほしいと言われた。信大とも交流があり、中村さんが生物多様性の委員長をしていると聞いて地域の研究をしている人たちと町を結ぶことができないかと思い、地域の専門の知識を持った人が同じテーマのもとに取り組み実行できないかと相談した。

辰野町でこれから取り組んでいきたいことを書かせてもらった。今回の会議で目標を決めていきたいと思う。

#### 【自己紹介】

#### 【窪田の説明】

啓蒙活動で大事だと思うのが、未だにアレチウリと葛の違いがわからない人がいる。蝶の話があったが、木を見て青い虫がいたと思ったら蝶の幼虫だったというようなことがあった。啓蒙活動にはお金がかかるから、ポイントを狙った啓蒙活動をしたほうがいいのではないかな。

アレチウリの駆除が多勢に無勢という話があったが、具体的には人数が足りないということか。

県にしろ町にしろ、取り組んではいるが繁茂の状況からすると人数的にも無理があるし、期間が少なくてもだめ。駆除するポイント、場所の問題、やり方の問題。個人の土地は手が出せないから行政、民間の連携が必要。

有効な駆除には人が足りなかったり、あとは民地で入れないところは行政、住民の理解、協力が必要。

段取りをする仕組み、活動をしやすくなるような仕組みがある。民地の駆除もしにくいから段取りのいい仕組みがほしい。

調査に取り組んで苦労しているところがあったら言ってほしい。

アゲハの数が減っている。特に人里に住むアゲハは山椒やカラタチを食べる。今は人が山椒を食べなくなったり、カラタチが刈られたりして減ってしまいアゲハも減っている。棘のついたカラタチ

を植えろとは言えないから、危なくないところに植えるというような手法をとって多様性を保ちたい。場所は違うが多様性を守る方法ではないか。

荒神山周辺の開発の話だが、荒神山をやるときはゾーニングがいる。ここは守りたいと言う場所を決めていく。保護で開発ができないという話はその通りだと思うが、多様性を損なわない開発を考えたりしていけばいいのではないか。地元の人意見を聞いて区域分けをすることが大切。

天竜川のヨシがなくなってしまったという話があったが、そういうのがなくならないような改修の仕方。一番気になるのは行政は各々が縦の繋がりで仕事をしていて横の繋がりが無い。環境部は環境を守ろうとするが、開発の関係の部署は開発を進めようとする。その時に両方で全く相談をしていないからお互いに衝突する。開発をするときもお互いの部署同士で相談したらどうか。県も市町村も連携をお願いしたい。

ウォーターパークがあったが、山を削ってなぜこれを作るのかと地元人は言ったが、10年位したら廃止になった。計画性のない事業をやることもどうかと思う。

人づくりという話があったが、どんな方法があるか。

ホタルも情操教育の根本、辰野もホタルをシンボルとして進んできた。実際のところホタル=水環境だが、本当に守られている状況なのか。トータルとしてどういう方向性を取りたいのか。みんな楽に暮らしたい、ホタルは見たいけど蚊に刺されたくない。こういう中でリスクを負ってもそういう道をとるのかとらないのか。生物多様性を守るということは、他の生き方を認めると言うこと。自分が一歩引くことになる。それで霧が峰は失敗した。道路を作ってハイヒールで行けちゃうのもサービスだし、鳥も増えるし魚も増えるしだんだん色んなものがトータルして繋がっていくということ。私たちが教えるのは日本古来の暮らしぶりがいかに大変だけどいいかということ子ども達に教えていくことが必要。色んなところに色んな知恵がある。山を手入れしたいけどその後どうするかの一貫性がない。昔、浄化プログラムで諏訪湖では水草を浮かせようとする理念はあったが、その後の水草の処分はどうするのかと思った。ないほうが楽だが、水を綺麗にするには水草を使った方がいいし、生き物も戻ってくるかもしれない。私たちが教えるのは、公民館で川遊びをやったりして伝統的な遊びをして自然の大事さを教えたりすること、それが根底になって次の世代に繋がっていく。本物の自然を知ってもらえるようなことをしていかなければならない。かやぶき等の地域資源を使っていけるものがある。

ものすごいスピードで種が絶滅しているが、地域の人はどうすべきか教えてほしい。

最初はどのような植物がいて、それを調査して、変動がどうなっているかというその場所の生物多様性がどんなものか調べて、それをトータルして、そこから課題が見えてくる。まずは種が絶滅しているが残っている種を調べることが大事。

有害鳥獣をどう捉えるかという話があったが

有害鳥獣はシカがコヒョウモンモドキの食草のクガイソウを食べてしまって絶滅してしまったことがあった。有害鳥獣に関しては生態調査をして人間がどういうふう管理するかの方法を出すこと。そのためには現状の個体数の把握が必要。

問題の中に生態系が崩れてきた要因は地球温暖化の影響もある。人間の力では防ぎきれない。アレチウリも温暖化が後押ししてどんどん増えれば非常に大きい警告だ。それに逆らうというより、アレチウリを食べる昆虫をつけて一遍に食べてもらうことがいいかという、決していいとは思わないが、生き物のバランスの中で制御していくという考え方でないと。シカも昔は自然が個体調整してくれていたが、それが生き残ってしまうからどんどん増えていく。適応したものが強くなって

いくから、むしろ我々が適応戦力を逆手にとってアレチウリを食べるとか薬に使うとか、そういうものであればまた違ってくる。戦い方はいろいろあるが、絶滅していくのは人間の開発もあるけど、何度までしか生きられないものが生きられるとか、そういうすごいものがあるとどこかに入れておかないと。お米だってそうだが、温度が上がると美味しいものが取れないといわれてもどうしようもないわけで、そのところをいれながら守れることを一生懸命にやっていく。やはり人間がどうという方向性に向かって行くかという中で自然の考え方が生まれてくる。

実際に保全の取り組みをしていかなければならない、そこで取組に向けて組織を立ち上げたいと思う。

#### 【会の発足についての説明】

組織を立ち上げるとき、どんなことをすればいいか、基礎的な現状把握が必要だというお話や蝶が減ったという話があったが、実際どのくらい減ったのか、現状の把握を取り組みに掲げたいと思う。そのデータを使い実践に繋げていくことをひとつの理念にする。アレチウリの駆除でも民間と行政が意識を共有して取り組む体制を整備する核になりたい。2ヶ月に1度調査報告の会議を設けたいと考えている。エリアについてだが、荒神山でということで相談したい。最終目標は辰野町の生物多様性保全だが、まずは荒神山からスタートしたいと思う。

荒神山と他の地域で、ずっと荒神山をやるのは時間がかかる。5年だけとかとやるなら他のことをやったほうがいいのでは

調査が1年間で、その後取り組みの検討も同時進行するから、他のエリアについても拡げていきたい。

辰野にとってどこが一番大切なのかの調査が必要なのではないか。

荒神山と提案したが、調査の場所についてどう展開するか相談するとき広い枠組みも視野に入れながらやるということか。

どこをどういう視点で守るのか理解していないと一律ではない。特にホテル童謡公園はビオトープがあるのに使わないのは勿体無い。

#### 【会長を決めるための説明】

初年度の取組について、基礎的な調査が必要ということでデータ収集を柱とするが、その他に何かあるか

辰野のホテル、小学校や中学校の活動が減ってきている。そういうところに人を送って子どもにそういうのを守ることを教えていく仕組みができると情操教育や環境教育で環境基本計画に係った部分が一步進むのではないか。

子供向けの教育の機会を取り入れる場合はそれぞれの分野の皆さんに先生として来てもらえるか。

信大の研究室で年に10回、親子の自然教室をやっている。調査してそれを元に冊子を作って子ども達がそこで観察する場として荒神山を作ることがいいから、そういう調査ができればいい。

パンフレットやガイドのようなものも視野に入れて

せっかくこれだけの人が集まっているから、ここを守らなきゃいけないとか勉強会みたいのをやってもらえば前向きな意見が出ると思う

それは町民か

ここにいるメンバーで。

2ヶ月に一回の会議で調査の中間報告（現地調査含む）をしたいと思う。

短期でできあがるものではないから根気強く取り組んでほしい。現状把握と方向性をもってやってほしい。駒ヶ根の千畳敷カールで高山植物が減っている。むしろを敷いて種子を蒔いていて、反省会でどこまで復元するのかということが話題になっている。ここの土地をどういう姿にするのか、現状の把握とかつての姿を調べれば方向性が見えてくる。

次回までに会の名前を考えてきてほしい